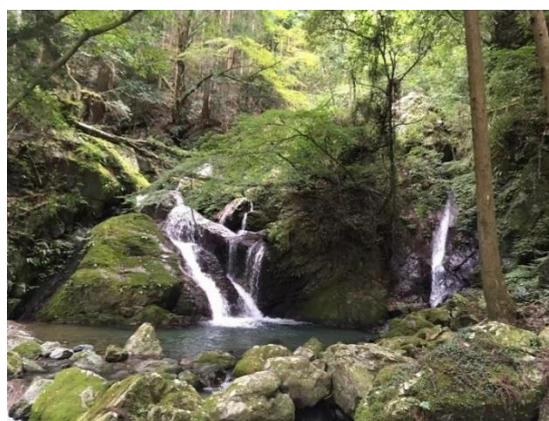


## 在鸣门 第137期

先日、神山町にある「雨乞の滝」を見に行きました。昔、日照りの時に、村人が降雨を祈ったところだそうです。山の麓から滝までの距離は800mでしたが、結構急な坂道でした。良いお天気に恵まれ、途中、花や「うぐいす滝」、「不動滝」などの小さい滝もあり、山景色を楽しみながら登りました。

不久前，我去观赏了位于神山町的“雨乞瀑布”。据说这是以前干旱时期，村民进行祈雨活动的地方。从山脚到瀑布所在地，虽然只有800M，但是几乎都是很陡的上坡路。庆幸的是，当天天气很好，上山途中还能观赏到漂亮的花儿，以及途中的“莺瀑”、“不动瀑”等小型瀑布。



登っている途中、「滝まで450m」、「頑張って」などの看板がありました。山の神様が応援してくれているような感じでした。

上山途中，还会出现“距离（雨乞）瀑布还有450M”、“加油”之类的提示。仿佛山神在为游人加油打气。



「雨乞の滝」に辿り着くと、目の前に二つの滝が現れました。左は雄滝で、水量は少ないですが、近くに行くと、銀の粉が空から舞い降りているような感じでした。右は雌滝で、水量が多く、滝壺に注がれる様子はなんとも豪快でした。その時、中国の唐の時代の李白の詩句を思い出しました。「飛流直下三千尺 疑是銀河落九天」という詞句です。滝の水が早く流れ、真っ直ぐ下へ落ちていく様子が、まるで「銀河が最も高い処から落ちてきたのではないかと思うほど」という意味です。

当我到达“雨乞瀑布”的时候，眼前呈现出两条瀑布。左边的瀑布叫“雄瀑”，水量较小，靠近仰望，仿佛无数银色粉末从空中洒落。右边的瀑布叫“雌瀑”，水量很大，瀑布从高处往下注入碧潭之中，甚是豪爽！此时，我不禁想起了中国唐代诗人李白的诗句：飞流直下三千尺，疑是银河落九天。瀑布从高处飞流而下，不禁让人联想起银河从天而落的壮观景象。



左右の滝を一枚の写真に綺麗に収めることが出来なかったが、その絶景は頭の中に残っている。

虽然我没能将左右的瀑布完美地收纳到一张照片上，但是眼前的绝景已深深印刻在脑海中。

「雨乞の滝」は徳島県の三大名瀑の一つだそうです。美しい姿、涼しい水、轟々たる瀑声、癒しの世界が作られています。ずっとそこに居たいと思いました。

“雨乞瀑布”被称作德岛的三大名瀑之一。瀑布的美丽姿容，清凉的流水，哗哗的瀑声，置身其中，令人流连忘返。

部门：鳴門市観光振興課

地址：鳴門市撫養町南浜字東浜 170

(〒772-8501)

TEL：088-684-1746/FAX：088-684-1339

E-mai：[kokusai@city.naruto.i-tokushima.jp](mailto:kokusai@city.naruto.i-tokushima.jp)

编辑：翟羽佳